社団法人 私立大学情報教育協会

～サイバーキャンパスの推進～

平成14年度　大学情報化全国大会
開 催 要 項

日　　時	平成１４年９月３日（火）・４日（水）・５日（木）
会　　場	**アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）** 東京都千代田区九段北4-2-25　TEL:03-3261-9921　JR市ヶ谷駅下車徒歩２分
主　　催	社団法人　私立大学情報教育協会
後　　援	文部科学省（申請中）
開催主旨	大学全体における情報化への理解普及と情報化推進に伴う支援環境、支援体制など、大学としての今後の対応について理解を深めるため、開催します。

参加対象者　大学・短期大学の教職員、賛助会員

申込方法　別紙「参加申込用紙」に記入の上、郵送またはFAXにて送付下さい。
申込締切　　８月２０日（火）
締切日を過ぎても会場に余裕があれば申込を受け付けますので、参加希望の方はご一報ください。

参加費振込

キャンパスや部署で一括申込みの場合

参加費振込もできるだけ一括し、振込依頼人名には大学名の他にキャンパス名もしくは部署名を入れて下さい。

個人申込みの場合

参加費の振込依頼人名には、大学名と氏名を両方入れて下さい。
振込先　　あさひ銀行　市ヶ谷支店　　（ｼﾔ）ｼｼﾞｮｳｷｮｳ　（ﾀｲｶｲﾁﾝｶﾋ）
普通口座　０４３４６３５　　（社）私情協（大会参加費）
〒102-0073　千代田区九段北4-1-14 No.1山崎ビル4F　TEL: 03-3261-2798
＊８月30日(金)までに振込みください。
＊振り込まれた参加費は原則として返金しません。また、無断欠席で参加費未払いの場合は後日請求させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

参 加 費

	９月３日(火)	９月４日(水)	懇親会	９月５日(木)
加盟大学・短期大学・賛助会員	6,500円	5,300円	6,500円	5,300円
非加盟大学・短期大学	9,750円	7,950円	9,750円	7,950円

＊加盟校一覧は下記サイトに掲載されていますので、不明な場合は確認ください。
http://www.shijokyo.or.jp/LINK/kaiin/univ2.htm

問合わせ・送付先
社団法人 私立大学情報教育協会事務局
〒102-0073千代田区九段北4-1-14 No.1山崎ビル4F　TEL:03-3261-2798　FAX:03-3261-5473

●インターネットによるライブ配信を実施（9月3日のみ）詳細は下記サイトをご覧ください。
http://www.shijokyo.or.jp/LINK/taikai/taikai2002.htm（開催要項・申込用紙も掲載）

～サイバーキャンパスの推進～
平成１４年度　大学情報化全国大会　プログラム

9月3日（火）

サイバーキャンパス推進のための、大学全体を対象とした話題を提供します

参加費	会員：6,500円　非会員：9,750円	
会　場	3F富士	
10:00	●開会挨拶 戸高　敏之会長（社団法人私立大学情報教育協会）	1
10:05	●基調講演 「サイバーキャンパスとこれからの大学教育」 清水　康敬氏（国立教育政策研究所・教育研究情報センター長）	1
11:15	●事例紹介「e-Learningへの取り組み」 「鹿島におけるe-Learningへの取り組み ～MITとの未来型教育システムに関する研究～」 河村　一氏（鹿島建設株式会社 ITｿﾘｭｰｼｮﾝ部学校教育ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｸﾞﾙｰﾌﾟ主事）	1
11:50	「インターネットを活用した日本人学校向け遠隔教育の試み」 薗　一春氏（NTTコミュニケーションズ株式会社ｿﾘｭｰｼｮﾝ事業部 e-ｶﾞﾊﾞﾒﾝﾄ営業部Eｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾝﾌﾟﾛﾀﾞｸｽ担当部長）	1
12:30	休　憩（60分）	
13:30	「トレンドマイクロにおけるｅ”を活用した人材育成への取り組み」 成田　均氏（トレンドマイクロ株式会社管理本部総務人事部課長代理）	2
14:00	「Global English法人、学校用学習サービス」 佐藤　洋氏（グローバルイングリッシュ・ジャパン株式会社 ビジネスデベロップメントマネージャー）	2
14:30	休　憩（20分）	
14:45	「河合塾におけるe-Learningの方向性」 三品　壽氏（学校法人河合塾企画本部新規事業開発部Aチームチーフ）	2
15:10	「インターネット利用遠隔教育による高大連携教育」 大西　荘一（岡山理科大学総合情報学部助教授）	2
15:45	「サイバーユニバーシティコンソーシアムを目指して ～インターネットオンデマンド授業／海外共同ゼミの実践～」 筧　捷彦氏（早稲田大学教務部デジタル化事業推進室室長、 遠隔教育センター所長）	2
16:20	●私立大学情報教育協会の活動 「サイバー・キャンパス・コンソーシアム」 「大学等電子著作物権利処理事業」	2
16:40	終了	

基調講演では、清水康敬氏（国立教育政策研究所・教育研究情報センター長）より、情報技術の現状を見据えながら、サイバーキャンパスにおける新しい授業の可能性についてご紹介いただきます。また、e-Learningへの取り組みについて、企業、予備校、大学での動向や今後の展開について紹介いただきます。

インターネット ライブ配信　開始！

９月３日の講演および事例紹介のみ、インターネットによるライブ配信を行います。

9月4日（水）

公募による複数の発表と展示会を行います

●大会発表（61件）

参加費	会員：5,300円　非会員：7,950円				無　料	
会　場	5F大雪西	5F大雪東	5F穂高西	5F穂高東	4F鳳凰	3F富士
10:00	A－1	B－1	C－1	D－1	情報教育方法研究会・授賞者選考会（11件）	展示会 37社
10:20	A－2	B－2	C－2	D－2		
10:40	A－3	B－3	C－3	D－3		
11:00	休　憩（20分）					
11:20	A－4	B－4	C－4	D－4		
11:40	A－5	B－5	C－5	D－5		
12:00	A－6	B－6	C－6	D－6		12:00
12:20	休　憩（90分）					
13:50	A－7	B－7	C－7	D－7		
14:10	A－8	B－8	C－8	D－8		
14:30	A－9	B－9	C－9	D－9		
14:50	休　憩（15分）					
15:05	A－10	B－10	C－10	D－10		
15:25	A－11	B－11	C－11	D－11		
15:45	A－12	B－12	C－12	D－12		
16:05	休　憩（15分）					
16:20	A－13	B－13	C－13	D－13		
16:40	A－14	B－14	C－14	D－14		
17:00	A－15	B－15	C－15	－		17:00
17:20	－	B－16	C－16	－		
17:40	懇　親　会　会場：6F阿蘇 会員：6,500円　非会員：9,750円				17:45	
18:40	終了					

＊発表内容の詳細は別面をご覧ください。

教育への情報技術の活用や支援環境について、61件の発表を４会場に分けて行います。また、第10回情報教育方法研究発表会（７月開催）でノミネートされた発表について、２次選考会を発表会形式で行い、大会参加者は自由に聞くことができます。この他、当協会の賛助会員企業による教育ソフトや教育システム等に関する展示会を行います。

9月5日（木）

企業の技術動向紹介や、キャンパスにおける情報技術の活用事例など、個別的な話題を提供します。

参加費	会員：5,300円　非会員：7,950円		無　料
会　場	5F大雪 (注)		3F富士
10:00	●「大学におけるネットワークセキュリティポリシーのあり方」 ・ネットワークセキュリティポリシーの考え方 ・ネットワークセキュリティポリシーの策定と運用 ・セキュリティポリシーモデル ・セキュリティポリシーを成功させるために ・技術的な対応と情報倫理教育 社団法人 私立大学情報教育協会 ネットワーク研究委員会・不正侵入対策小委員会 情報倫理教育振興研究委員会	1	展示会 37社
12:00	休　憩（90分）		
13:30	●事例紹介 「マルチメディア・キャンパス～キャンパス・ネットワークと教材のマルチメディア化～」 北村　了氏（金沢工業大学情報処理サービスセンター 電子計算課技師） 「図書館部門における近世資料デジタルアーカイブと提供技術」 柴山　守氏（大阪市立大学学術情報総合センター教授）	2	
14:40	休　憩（20分）		
15:00	●技術動向紹介 〈翻訳ソフト〉 シャープシステムプロダクト株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 〈教育支援システム〉 日立公共システムエンジニアリング株式会社 松下電器産業株式会社	3	
16:30	終了	17:00	

大学におけるネットワークセキュリティポリシーについて当協会のネットワーク研究委員会不正侵入対策小委員会および情報倫理教育振興研究委員会から解説します。また、教材作成や教室運営等の支援システムについて、企業から技術動向を紹介いただき、大学からは教育における情報技術活用や支援環境について、実践事例を紹介いただきます。この他、前日と同様に、企業による展示会を行います。

http://www.shijokyo.or.jp/LINK/taikai/taikai2002.htm

平成14年度 大学情報化全国大会（９月４日）発表一覧

＊発表者名は氏名の都合上、発表代表者名のみ掲載しています。当日の発表者は共同研究者に変更する場合があります。
＊会場は４会場で同時開催します。

発表件数　61件

			発表タイトル	大学名	発表代表者名	会場
10:00	1	A-1	聴音のためのトレーニングプログラム利用とその効果	武蔵野短期大学	荻原　尚	5F大雪西
10:20		A-2	コンピュータによる予復習システムの利用（幼児教育学科における英語教育を題材として）	武蔵野短期大学	尾形　重政	
10:40		A-3	中国語音声学習補助システム（声調篇）	成蹊大学	湯山トミ子	
11:00			休　憩　（20分）			
11:20	2	A-4	音声波形分析装置（Multi-Speech）による英語のリズムの習得	東京女子大学	大塚　貞子	
11:40		A-5	リメディアル教育のためのWBT型個別化学習システムについて	いわき明星大学	高山　文雄	
12:00		A-6	電子カルテを用いた情報工学実験の試み	拓殖大学	佐々木　整	
12:20			休　憩　（90分）			
13:50	3	A-7	マネジメント・ゲームにおける経営学の習得とプレゼンテーション能力の育成	大阪国際大学	市川　直樹	
14:10		A-8	構造物の変形と力の流れをイメージ化する教育支援システム	広島工業大学	浅野　照雄	
14:30		A-9	文系学部学生のフレッシュマン・キャンプにおけるリテラシー教育について	日本大学	山口　秀樹	
14:50			休　憩　（15分）			
15:05	4	A-10	パソコンをツールとして使用する授業空間の演出	奈良産業大学	中尾　泰士	
15:25		A-11	記述式試験の採点支援ソフトの作成と考察	日本工業大学	小林　哲二	
15:45		A-12	データベースを備えたインタラクティブな学科Webサイトの開設と運用およびシステム開発	愛知工業大学	中村　栄治	
16:05			休　憩　（15分）			
16:20	5	A-13	授業支援に関するシステムの開発とその運用について	神奈川大学	内田　智史	
16:40		A-14	汎用性を考慮したメールシステムの設計と構築	高千穂大学	中山　良一	
17:00		A-15	マルチサーバを利用した理系学生のための情報通信システムの設計と構築	千葉工業大学	高木　徹	
10:00	6	B-1	安・即・易のe-Learningシステムの開発	大谷女子大学	大倉　孝昭	5F大雪東
10:20		B-2	Java応用による理工学教育を継続的支援するWEBコンテンツ開発	広島工業大学	宋　相載	
10:40		B-3	専門教育のために備えるべきマルチメディア教室の機能の検討	愛知医科大学	安藤　裕明	
11:00			休　憩　（20分）			
11:20	7	B-4	課外学習環境の改善のためのパソコン利用予約システムの導入	武庫川女子大学	濱谷　英次	
11:40		B-5	嘉悦大学Web履修申請システム導入の目的とその運用　－Webベースの学習支援システムとの関連で－	嘉悦大学	森本　孝	
12:00		B-6	教育的立場から見た情報環境の整備－教務手続きのIT化（履修登録）－	京都文教大学	中村　博幸	
12:20			休　憩　（90分）			
13:50	8	B-7	阪南大学におけるWebによる履修登録システム	阪南大学	濱　道生	
14:10		B-8	リアルタイム完結型Web履修登録システムについて	日本福祉大学	加藤　由美	
14:30		B-9	コミュニティサイト構築ツール「XOOPS」を利用した授業支援	千葉経済大学短期大学部	江上　邦博	
14:50			休　憩　（15分）			
15:05	9	B-10	再起動で復元するマルチブート環境によるパソコン教室の構築(VMwareとSystemImagerの応用事例)	国際基督教大学	冨田　重成	
15:25		B-11	学生によるオンライン授業評価とそのリアルタイムな分析が及ぼす授業改善への効果	四国大学	山本　耕司	
15:45		B-12	Webシステム性能改善	南山大学	瀬尾　好広	
16:05			休　憩　（15分）			
16:20	10	B-13	学習院におけるマルチメディア支援体制	学習院大学	水上　悦雄	
16:40		B-14	ログオンメッセージおよび課題提出システム構築によるユーザビリティの向上	奈良産業大学	日下　直也	
17:00		B-15	マルチメディア資料検索／管理Webアプリケーションの開発	関西大学	冬木　正彦	
17:20		B-16	ノートコンピュータを用いた教育の情報化とその効果	広島工業大学	長坂　康史	
10:00	11	C-1	新入学生の対インターネット意識について	立正大学	山下　倫範	5F穂高西
10:20		C-2	女子学生のコンピュータに対する意識の変化－１９９１年と２００２年の比較－	日本女子大学	立花　厚子	
10:40		C-3	学習効果測定を導入した英語カリキュラム－その実践と効果測定方法の有効性－	明海大学	川成　美香	
11:00			休　憩　（20分）			
11:20	12	C-4	計算機用語認知度による情報関連理解度の測定と、情報教育効果評価への応用	広島工業大学	中村　靖	
11:40		C-5	マルチメディア・ハンドリング・ツールを用いた教育評価システム	甲南大学	辻田　忠弘	
12:00		C-6	オンデマンド型遠隔授業の実現と評価	文教大学	宮川　裕之	
12:20			休　憩　（90分）			
13:50	13	C-7	情報等教育用統合ソフトの作成と動画像教材を用いた教育実践	神戸学院女子短期大学	中野　修	
14:10		C-8	会計教育におけるCAIの実践	愛知工業大学	岡崎　一浩	
14:30		C-9	武蔵大学経済学部E-教育コンテンツについて	武蔵大学	松島　桂樹	
14:50			休　憩　（15分）			
15:05	14	C-10	双方向のインターネット遠隔教育実施報告とその教育効果	東京理科大学	田崎美弥子	
15:25		C-11	ウェブ補助教材の受容意識変化について	東京経済大学	佐藤　修	
15:45		C-12	画像プログラミング演習によるC言語導入授業の試み	大阪電気通信大学	高見　友幸	
16:05			休　憩　（15分）			
16:20	15	C-13	電気工学基礎科目におけるインターネットを利用した教育システムの開発	福岡工業大学	梶原　寿了	
16:40		C-14	ホームページを利用した計算化学教材の開発	奈良大学	湊　敏	
17:00		C-15	“モジュール化”による効率的な情報処理教育用テキストの作成－ネットワークを利用した教育教材の共有化への試論－	北星学園大学	後藤　靖宏	
17:20		C-16	ストリーミングプレゼンテーションを利用した教材作成について（食品学実験を例として）	東和大学	草間　和美	
10:00	16	D-1	インタラクティブなWebを使った「知る・学ぶ・理解する」参加型教材の研究	早稲田大学	安岡　広志	5F穂高東
10:20		D-2	MBL（Model Based Learning）ライブラリによる教育コンテンツの開発	青山学院大学	佐久田博司	
10:40		D-3	データサイエンス教育のためのWeb教材の開発	関西学院大学	丹羽　時彦	
11:00			休　憩　（20分）			
11:20	17	D-4	非情報系短期大学の情報リテラシー教育におけるLinuxの活用検討	岐阜聖徳学園大学短期大学部	津森　伸一	
11:40		D-5	総合メディア構想第2プロジェクト：上智大学におけるマルチメディア化教材の試み	上智大学	大久保　成	
12:00		D-6	金沢星稜大学におけるCAIによる学習環境改善計画	金沢星稜大学	二口　聡	
12:20			休　憩　（90分）			
13:50	18	D-7	Webサイトを利用した「文学」の授業について	岡山理科大学	小田中章浩	
14:10		D-8	講義支援のためのHPの作成とその利用について	東京工科大学	大山　恭弘	
14:30		D-9	大学における創造性・知的財産権一体的教育の試行	東海大学	伴野　明	
14:50			休　憩　（15分）			
15:05	19	D-10	インターネットを活用した体験学習型英語教育システムの構築	九州女子大学	佐藤美恵子	
15:25		D-11	情報システム構築による問題解決 －学習支援システムの構築を事例として－	沖縄国際大学	大井　肇	
15:45		D-12	ネットワークシステムの構築実習	青山学院大学	水澤　純一	
16:05			休　憩　（15分）			
16:20	20	D-13	パソコン組み立て実習によるハードウェアとネットワーク知識の深化	奈良産業大学	大西菊太郎	
16:40		D-14	プレゼンテーション課題における達成目標と課題成績の関連について	帝塚山大学	田中あゆみ	